



医療法人社団 **みずほ会**

広島市中区袋町5-13JDS袋町ビル5F
TEL082-242-0102

〈事業所〉

■清水歯科医院

広島県広島市中区基町11-5-2F
TEL082-227-5365

■ゆず歯科医院

広島県広島市西区横川町3-2-36
TEL082-296-4224

■高陽歯科医院

広島県広島市安佐北区真亀3-3-16
TEL082-842-2688

■倉掛歯科医院

広島県広島市安佐北区倉掛3-40-3
TEL082-843-2699

■亀崎歯科医院

広島県広島市安佐北区亀崎1-2-26-2F
TEL082-842-0648

■久地歯科医院

広島県広島市安佐北区安佐町久地1207-1
TEL082-837-1155

■伏見町歯科クリニック

広島県福山市伏見町4-20
TEL084-922-8474

■蔵王歯科医院

広島県福山市南蔵王町5-9-18-3F
TEL084-943-8600

■真壁歯科医院

岡山県総社市真壁字下高原東1638-16
TEL0866-93-6740

■土原歯科医院

山口県萩市土原字川島沖田488-3
TEL0838-25-0380

■タートルズ歯科クリニック

東京都江東区亀戸5-14-3
TEL03-3682-6225

■アーク歯科クリニック

神奈川県横浜市戸塚区戸塚町120-9
TEL045-862-3561

■アール歯科庄内通

愛知県名古屋市中区又穂町6-29
TEL 外来診療 052-532-8787
訪問診療 0120-118-307

■アール歯科クリニック

愛知県名古屋市中区南大高2-450-2F
TEL052-626-2843

■訪問歯科診療部

広島県広島市袋町5-13-7F
TEL082-242-2555

■歯科技工所コロナ歯研

広島県広島市袋町5-13-6F
TEL082-242-2550

編集長の「知らなかった！」レポート。

歯科に強い ケアマネさんのいる 「みずほ居宅介護 支援事業所」

「介護が必要になっても、住み慣れた自宅ですできるだけ長く過ごしたい」。誰もがそう思います。「食べることは生きること。それを可能にするためには、歯科医と家族や施設、ケアマネジャーが連携していかなくては」と、「医療法人社団みずほ会」では、2021年に歯科に強いケアマネジャーさんのいる「みずほ居宅介護支援事業所」を開業しました。



聞き取ったデータを整理して、ケアプランを作成します

「元気に長生き」はお口の健康から。「元気な時からお口のケアを心掛けるのはもちろん、ケアプランを作成する時にも、心身の機能の衰えだけでなく、お口の中の状態までしっかりチェックして、衰えを把握していく必要があります」と、理事長の清水肇先生。

高齢期になると、虫歯や歯周病などで歯を失ったり、噛み合わせや入れ歯の不具合などが影響して、噛む力や舌、頬の力が低下し、飲み込む力も次第に低下します。すると、硬いものが噛みにくくなったり、滑舌が悪くなったり、むせやすくなったりします。「こんな状況を放置していると次第に食べたり飲み込んだりすることに支障がおきて、体も心も元気を失ってしまいます。「口腔機能の衰えは、身体機能の衰えより早くやってくるんですよ」という理事長の言葉にどうきり。

そこで「みずほ居宅介護支援事業所」では、まずたくさんの人の「お口の健康状態を把握しているケアマネジャーが歯科医と一緒に口腔アセスメントシートを「一緒に口腔アセスメントシート」を作成して、ケアマネジャーのリーダーである西森卓也さん。

介護福祉士でもあるケアマネジャーの瀧本裕子さんも「入退院を繰り返していた方が訪問診療で入れ歯を作ってからはおいしく食べられるようになり、みるみる元気になられたんですよ。うれしかったですね」と、その驚くような変化を話してくれました。

日頃からお口に関心を持つておくことが大事なんです。自分自身は言うまでもなく、家族やケアに関わる人もちゃんと関心を持つておけば、本人が気がつかない場合にもフォローできます。

「食べることは生きること。おいしく食べられることは、よりよい人生の大事な初めの一步。ご自分の口だけでなく、高齢の方のお口のことにも、もっと関心を持ちましょう！」

口腔アセスメントシート

記入年月日： 令和 年 月 日

利用者名： 様

①自分の歯はありますか？	有	無	
②入れ歯はありますか？	有	無	
分かれば	総義歯	上	下
	部分義歯	上	下

※義歯が無い場合は設問⑥へ！

③入れ歯は合っていますか？	はい	まあまあ	いいえ
④入れ歯を入れた際、痛みがありますか？	ある	ない	
⑤入れ歯が壊れていませんか？	はい	いいえ	
⑥歯や歯茎、口腔内に痛みはありますか？	ある	ない	
⑦歯茎の腫れや出血はありますか？	ある	ない	
⑧歯がグラグラと動いていませんか？	はい	いいえ	
⑨歯が抜けたまま折れたままになっていませんか？	はい	いいえ	
⑩口の渇きが気になりますか？	はい	いいえ	
⑪口臭が気になりますか？	はい	いいえ	
⑫硬い物を噛む事ができますか？	出来る	出来ない	
⑬水分や汁物をむせる事がありますか？	はい	いいえ	
⑭食後に口の中に食べ物が残る事がありますか？	はい	いいえ	
⑮定期的に歯科受診をしていますか？	はい	いいえ	

【特記事項】

みずほ居宅介護支援事業所

現場を知る理事長を中心に独自で作成したみずほ居宅介護支援事業所「口腔アセスメントシート」



お口の機能の衰えは、体の衰えより早くやってくる。



口腔アセスメントシートに添って、利用者のお口の状況を聞く西森さん

「元気に長生き」はお口の健康から。「元気な時からお口のケアを心掛けるのはもちろん、ケアプランを作成する時にも、心身の機能の衰えだけでなく、お口の中の状態までしっかりチェックして、衰えを把握していく必要があります」と、理事長の清水肇先生。

高齢期になると、虫歯や歯周病などで歯を失ったり、噛み合わせや入れ歯の不具合などが影響して、噛む力や舌、頬の力が低下し、飲み込む力も次第に低下します。すると、硬いものが噛みにくくなったり、滑舌が悪くなったり、むせやすくなったりします。「こんな状況を放置していると次第に食べたり飲み込んだりすることに支障がおきて、体も心も元気を失ってしまいます。「口腔機能の衰えは、身体機能の衰えより早くやってくるんですよ」という理事長の言葉にどうきり。

そこで「みずほ居宅介護支援事業所」では、まずたくさんの人の「お口の健康状態を把握しているケアマネジャーが歯科医と一緒に口腔アセスメントシートを「一緒に口腔アセスメントシート」を作成して、ケアマネジャーのリーダーである西森卓也さん。

介護福祉士でもあるケアマネジャーの瀧本裕子さんも「入退院を繰り返していた方が訪問診療で入れ歯を作ってからはおいしく食べられるようになり、みるみる元気になられたんですよ。うれしかったですね」と、その驚くような変化を話してくれました。

日頃からお口に関心を持つておくことが大事なんです。自分自身は言うまでもなく、家族やケアに関わる人もちゃんと関心を持つておけば、本人が気がつかない場合にもフォローできます。

「食べることは生きること。おいしく食べられることは、よりよい人生の大事な初めの一步。ご自分の口だけでなく、高齢の方のお口のことにも、もっと関心を持ちましょう！」



「笑顔が増えるのが、うれしい」と瀧本さん